

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	日本遺産を活用して原村を元気に！ ー住民と共に学ぶ村づくりー
事業主体 (連絡先)	原 村 (生涯学習課 文化財係 0266-79-7930)
事業区分	移住促進、歴史・文化を活かした地域づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1, 5 2 2, 0 1 8 円 (うち支援金: 1, 1 7 5, 0 0 0 円)

事業内容

日本遺産の活用や阿久遺跡をはじめとする文化財の活用を促進するため、地域住民が主体的に取り組めるよう、様々な事業を行った。

- ・文化財活用サポーターの募集
- ・阿久遺跡（阿久の森）内での「縄文の深呼吸」と題するイベント実施。 2022.10.15 370名
- ・わくわく縄文講座 講演会1回 2022.12.11 58名
- ・貫頭衣作り 村民と共に9着を作成
- ・地域を元気にスタンプラリー 村内の問題掲示場所6か所を回り応募 応募者200名
- ・「火の女神フーちゃん」エア着ぐるみ作成 原村の文化財を発信



【遺跡活用プロジェクト「縄文の深呼吸」書道パフォーマンス】

事業効果

- ①日本遺産構成文化財や地域の文化財のPRが効果的にできた。
- ②世代を超えた多くの方々のコミュニティーの場が設けられ、地域の文化財に親しみを持つ縄文ファンが増えた。
- ③遺跡周辺のごみ拾い等で2050ゼロカーボンの周知や意識拡大ができた。
- ④クイズラリーは親子で回れ、子供も大人も楽しめた。

今後の取り組み

引き続き日本遺産構成文化財や文化財を使った事業を展開し、村への移住促進や観光に文化財を使いたい。また、文化財活用サポーターの活動を充実するようにアドバイスし、活路を開きたい。小中学生との連携を図るほか、着ぐるみにより保育園児等若年層に楽しく村の文化財を広めていく。

【目標・ねらい】

- ①日本遺産構成文化財のさらなるPR
- ②文化財活用サポーターの増員
- ③住民参加型の事業の拡大や周知
- ④世代を超え村の文化財を通じ、地域への愛着心を育てる

※自己評価 【 A 】

【理由】

- ・遺跡活用プロジェクト「縄文の深呼吸」は内容の充実に努めた結果、新たな集客につながり、縄文ファンを増やした。
- ・多くの村民に日本遺産のPRができ、興味を持ってもらえた。
- ・世代を超えたコミュニティーの場を設けることができ、村への愛着心につながった。
- ・着ぐるみはこれからの村PRに大きな期待が持てた。